



校長室より

日の出の時刻が、一年で最も早い時期になりました。午前4時45分頃に日の出の時刻を迎えます。この年になると、やけに早く目が覚めて家族のひんしゅくを買ってしまいます。しばらくは、昨夜の名残の深夜放送を聞いてじっとしているのですが、そのうち我慢が出来なくなって、まだ肌寒い外へ出ます。大きく深呼吸して、朝の新鮮な空気を体いっぱいに取り込むと、元気がみなぎってきます。あらためて、早起きは三文の徳(諸説あって、わずかに三文しか得をしないという意味もあるようですが。)だなあと感じます。このままジョギングや散歩に出かけたり、草刈りでもすれば、三文が六文にも十文にも増えていくのですが、「あーさむ」とつぶやいて家に入りますから、三文のままなのでしょうね。

でも、早起きは本当に健康を実感できます。思い切って、家族全員で夜型から朝型の生活に変換してみるのもいいかも知れませんね。

早起きは三文の徳(得)

- ① 読んで字のごとく、早く起きると得をすることがある。(朝早く起きれば、健康にも良いし、それだけ仕事や勉強がはかどったりするので得をするということ。)
- ② 早く起きても、わずかに三文しか得をしない。
- ③ 古く奈良の都では、鹿が神の使いとして崇められており、もし家の前で鹿が死んでいたら、その家の人が三文の罰金を支払った。それが嫌で、朝早く起きて家の前を確認し、もし鹿が死んでいたら、隣の家の前へ運んだ。隣も同じことを繰り返し、結局一番遅く起きた家の人が罰金の三文を支払うことになった。そこから、早起きをすれば、三文を支払わなくてもよい、つまり三文得をするという言い伝え。

修学旅行

5月15日・16日は、6年生のみなさんが楽しみにしていた修学旅行でした。前日までの雨も明け方には止み、薄日もさしてきましたから、天気はバッチリだと思いながら出発しました。ところが、奈良県に入



奈良の大仏



三月堂

ったあたりから空が暗くなりだしたのです。東大寺はなんとか傘なしで見学できたのですが、



雨の金閣寺



雨上がりの清水寺



音羽の滝

京都市内に入ったころから、ポツポツと雨が降り出したのです。金閣寺では雨と人ごみで、予定より40分以上も遅れてしまいました。それでも、雨の

金閣寺はとてもきれいでした。幸い雨はここまでで、清水寺では雨も降らずに、傘もささずに見学することができました。

約1時間遅れで旅館に着いた子どもたちでしたが、みんなとても元気に友だちとの一夜を



旅館の夕食

過ごしました。なかなか寝付けない子や友だちとおしゃべりして、遅くまで起きていた子もいましたが、6時の起床時間にはみんな元気に起きることができました。

翌日は京都も大阪も晴天でした。特にUSJは日差しも強く、みんな日焼けしてしまうほどでした。広い園内でしたが、とにかくたくさんの人・人・人の波でした。みんなは班に分かれて、思い思いに一日を楽しみました。さすがに疲れたのか、帰りのバスの中では、爆睡している子が何人もいました。



USJでの全員写真

一日目の雨も含めて、とても充実した修学旅行でした。子どもたちは御薊小学校6年生としての自覚を持って行動してくれたと思います。きっといつまでも忘れない、素晴らしい思い出が出来たことと思います。準備や送迎等、保護者の皆様にはいろいろとお世話をおかけいたしました。ありがとうございました。

清掃工場見学

5月19日(月)、4年生の子どもたちが、清掃工場の見学に出かけました。この日は、伊勢市のバスに乗せていただきました。9時から係の方に全体説明をしていただいたあと、クラスごとに工場内を案内していただきました。市内のごみがすべて集まる工場ですから、パッカー車がひっきりなしにやってきては、ピットにゴミを入れていきます。そんな様子を目の当たりにして、子どもたちは改めてごみの多さに驚いている様子でした。中央制御室では、ゴミを処理する方法などを教わりました。また、粗大ごみや不燃ごみの処理の仕方や、リサイクルについても教えていただきました。そしてまた、市のバスに乗せていただいて、学校へと戻りました。



中央制御室



ごみピット

1時間半ほどの学習でしたが、みんな静かに熱心にお話を聞くことができました。お家に帰ってからの子どもたちは、どんな感想を話してくれたのでしょうか？

防球ネットの増設

運動場の防球ネットを増設していただくことになりました。今あるネットから正門の手前まで延長していただきます。工事はお盆過ぎぐらいを予定しています。二週間程度ですが、その間大遊具やその周辺にフェンスを設置します。運動場の使用については、できるだけ影響のないようお願いしてあります。いろいろとご迷惑をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。詳しい日程が決まりましたら、お知らせします。なお、工事の都合上、桜や松の木を数本撤去することになります。